

平成27年度 企画政策部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

| | | | | | | | | |
|---|--|----|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------|
| 政策 05 都 市 基 盤 | 政策展開の方向性 | | | | | | | |
| | 市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。 | | | | | | | |
| | 平成27年度に向けての展開方針 (方針や重点事業の計画等を記載) | | | | | | | |
| | 05-01 市街地整備の推進 | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めます。そのために、平成27年度は目標実現に向け、関係機関と協議調整を進めるとともに、各関連個別計画を推進します。 ・高齢者の住みかえを支援し、子育て世代の移住を進めるため、住みかえニーズの把握強化と住みかえ先の整備に向けた取り組みを進めます。そのために、平成27年度は大麻地区での住みかえ相談窓口の運営やニュースレターによる情報発信などを行うとともに、自立的な運営に向けた組織づくりの検討を進めます。 ・駅周辺の安全性・快適性を向上させるため、駅周辺のバリアフリー化を促進します。そのために、平成27年度以降も野幌駅・江別駅周辺の交通施設整備計画に併せて駅周辺のバリアフリー化を関係機関等とともに進めていきます。 | | | | | | | |
| | 05-02 交通環境の充実 | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の減少に伴う減便や路線の廃止などが発生しており、駅を中心としたバス路線の再構築などによる利便性の向上が必要です。そのために、平成27年度は駅を中心としたバス路線の再構築の検討に向けて、地域公共交通会議を拡充するとともに、バス実証運行を行い、公共交通の最適化を図ります。 | | | | | | | |
| | 政策の成果指標 | | 単位 | (初期値) | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 目標 |
| | 市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等) | | % | 76.7 | | | | ↗ |
| | 交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通) | | % | 57.9 | | | | ↗ |
| 企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況 | | | | | | | | |
| 「大麻地区住環境活性化事業」 大麻地区の人口 | | 人 | 28,652 | | | | → | |
| 「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員 | | 千人 | 548 | | | | → | |
| 政策 08 協 働 | 政策展開の方向性 | | | | | | | |
| | 江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。 | | | | | | | |
| | 平成27年度に向けての展開方針 (方針や重点事業の計画等を記載) | | | | | | | |
| 08-01 協働のまちづくりの推進 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大学と地域の連携を進めていくためには、大学と地域とのつながりを深め、地域活動に参加する学生を増やしていく必要があります。このため、平成27年度は引き続き学生の地域活動を支援する取組みを進めるとともに、平成26年度よりスタートした大学教員による地域での出前講座の支援を継続して実施します。さらに、大学の魅力向上への支援として、インターンシップなどの実学教育について、関係各部と連携し、継続して取り組みます。 ・協働のまちづくりを進めるためには、協働を担う人材を育成する必要があります。そのために、平成27年度は、協働に参加する市民のすそ野を広げ、協働を担う人材の育成を進めるための、セミナー等を開催します。 ・市政への市民参加の拡大を図るため、市民参加の仕組みの整備を進めていきます。そのために、平成27年度は市民参加条例の制定を進めるとともに、関連する規則等の検討を行います。 ・自治基本条例の理念や内容の認知度を高めるため、将来のまちづくりを担う世代に向けた「協働」意識の啓発を図ります。そのために、平成27年度は小学生向けの「協働」意識啓発のリーフレットの配布や出前講座を実施します。 ・友好都市との都市間協力体制・連携強化を図っていくために、市民相互による交流の構築を進めていきます。そのために、平成27年度は引き続き小中学生相互交流を実施する他、両市特産品のPRなど地域振興を柱とした交流活動を実施していきます。 | | | | | | | | |

| 08-02 国際交流の推進 | | | | | | |
|---|--|-------|-------|-------|-------|----|
| <p>・国際交流を担う市民や団体の育成に向けた支援を進めることで、市全体の国際交流理解の向上を推進いたします。そのために、平成27年度も引き続き姉妹都市グレシャム市を中心に教育・文化などの相互交流を実施していきます。</p> <p>・在住外国人に対する情報提供を充実させ、生活利便性の向上を図ります。そのために、平成27年度は市ホームページによる情報発信や国際センターで開催するイベント活動の周知を拡充し、外国人にとって住みよいまちづくりを推進します。</p> | | | | | | |
| 政策の成果指標 | 単位 | (初期値) | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 目標 |
| 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合 | % | 23.1 | | | | ↗ |
| お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合 | % | 42.7 | | | | ↗ |
| 企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況 | | | | | | |
| 「自治基本条例啓発事業」 自治基本条例の認知度 | % | 38.7 | | | | ↗ |
| 「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数 | 件 | 6 | | | | ↗ |
| 「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数 | 人 | 895 | | | | ↗ |
| 政策 09 計 画 推 進 | 政策展開の方向性 | | | | | |
| | <p>効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。</p> <p>さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。</p> | | | | | |
| | <p>平成27年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</p> | | | | | |
| | 09-01 自主・自立の市政運営の推進 | | | | | |
| <p>・第6次江別市総合計画を効果的に推進するため、行政評価システムを活用したPDCAサイクルによる進行管理を行い、まちづくり政策と未来戦略の成果向上を図ります。そのために、平成27年度は事業効果と効率性の一層の向上を図られるよう、行政評価の精度の向上を図るとともに、新しい総合計画に合わせた外部評価を実施します。</p> <p>・新しい「江別市行政改革大綱」に基づき、時代や環境の変化に合わせた行政運営手法を構築します。そのために、平成27年度は「行政改革推進計画」の進行管理により、行革項目の着実な実行と新たな課題への検討を進めます。</p> <p>・石狩管内8市町村で構成する札幌広域圏組合と連携し、圏域全体の魅力向上につながる事業を協力して実施していくとともに、近隣市と連携し、江別市の魅力や認知度の向上に効果のある広域連携事業を実施します。そのために、平成27年度においても引き続き様々な媒体でのPR活動を行います。</p> | | | | | | |
| 09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進 | | | | | | |
| <p>・市民と行政の情報共有を推進し、市政への信頼を高めるために、市民が状況に応じて行政情報を入手できる環境整備を進め、さまざまな機会を通じて市民が意見を提案しやすい環境づくりに努めます。そのために、平成27年度は、市民が参加可能な広報紙として、新たな紙面の工夫を順次進める一方で、関心が高い行政・地域情報の発信と、市民の意見が市政に反映されるよう広聴制度の工夫等を図っていきます。</p> <p>・江別市の認知度とイメージを高めるための取り組みを総合的・戦略的に実施するため、市民と行政が一体となったプロモーションを実施します。そのために、平成27年度は、「江別シティプロモート推進協議会」を活用して、様々な媒体による情報発信とともに、市と連携してプロモーション活動を行ってくれる人材の発掘を行います。</p> | | | | | | |

| 09-03 男女共同参画による市政運営の推進 | | | | | | |
|---|----|-------|-------|-------|-------|----|
| ・男女共同参画社会の実現を目指し、「江別市男女共同参画基本計画」を推進します。そのために、平成27年度は計画の重点項目として位置づけられる男女共同参画意識の醸成に向けた講演会等を実施します。 | | | | | | |
| 政策の成果指標 | 単位 | (初期値) | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 目標 |
| 市政運営に満足している市民割合 | % | 64.7 | | | | ↗ |
| 行政情報の共有化を感じる市民割合 | % | 72.7 | | | | ↗ |
| 男女が平等だと思う市民割合 | % | 48.7 | | | | ↗ |
| 企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況 | | | | | | |
| 「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合 | % | — | | | | ↗ |
| 計画的に成果が上がっている事務事業の割合 | % | 93.0 | | | | ↗ |
| 「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合 | % | 84.8 | | | | ↗ |
| 「江別市男女共同参画基本計画」 男女共同参画の考えが必要だと思う市民割合 | % | 55.6 | | | | ↗ |

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

| 戦 略 | ■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課) |
|----------------------------------|---|
| 戦略 1 ともにつくる協働のまちづくり | ■1A 多様な主体が協働するまちづくり 「市民参加条例制定事業」(政策推進課) 「協働を知ってもらおう啓発事業」(政策推進課) 「協働を担う人材育成事業」(企画課) ■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学版出前講座支援事業」(企画課) 「大学連携調査研究助成事業」(企画課) 「大学連携学生地域活動支援事業」(企画課) |
| 戦略 2 えべつの将来を創る産業活性化 | |
| 戦略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり | ■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり) 「公共交通利用促進対策事業」(住環境活性化・公共交通担当)※H26補正 「大麻地区住環境活性化事業」(企画課) |
| 戦略 4 えべつの魅力発信シティプロモート | ■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「協働を知ってもらおう啓発事業」【重複】(政策推進課) 「ウェルカム江別事業」(広報広聴課) 「えべつシティプロモーション事業」(政策推進課) ※H26補正 |

3. 企画政策部の資源

| | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------------|-----------|---------|---------|--------|--------|--------|
| 歳出予算額 (千円) | 一般会計 (A) | 87,212 | 133,692 | | | |
| | 特別会計 (B) | 0 | 0 | | | |
| | 合計 (A+B) | 87,212 | 133,692 | | | |
| 正職員人件費 (千円) | 人工 (a) | 29 | 28 | | | |
| | 平均単価 (b) | 7,824 | 7,822 | | | |
| | 人件費 (a×b) | 226,896 | 219,016 | | | |
| 総 額 | | 314,108 | 352,708 | | | |